

研修14 書くことについて①

○研修のねらい

「研修14」では、外国語科「書くこと」が設定された経緯や目標等を知り、言語活動をどのように単元に位置付けるか、児童の活動をどのように進めるかを考えます。そのことを通して「書くこと」を取り入れた単元づくりの基本について学びます。

外国語科「書くこと」の概要

外国語科「書くこと」の設定の経緯や、目標、指導上の留意点、中学年での外国語活動での文字に関する指導について確認します。

○「書くこと」に関連した従来の外国語活動の課題

- ・音声中心で学んだことが、中学校の段階で「音声から文字への学習」に円滑に接続されていないこと。
- ・高学年は、児童の抽象的な思考力が高まる段階であり、より体系的な学習が求められること。

○「書くこと」の目標

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

○「書くこと」の留意点

高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「書くこと」を加え、総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることを重視します。

- ・文及び文構造の指導に当たっては、文法の用語や用法の指導を行うのではなく、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れることを通して指導すること。

○中学年の外国語活動での文字に関する指導

3 「指導計画の作成と内容の取扱い」

- (2) イ 文字については、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして取り扱うこと。

「書くこと」の言語活動の具体例

「書くこと」の言語活動には、次のような例があります。

言語活動例	具体例
(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動	電話でのやり取りの場面において、活字体によるメールアドレスをお互いに伝え合い、それを書く。
(イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動	「読むこと」の活動により、国名を表す名詞を読んで意味が分かるようにした後、国名一覧を見ながら、自分が行きたい国の国名を表す語を書き写す。
(ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動	紙面上で何人かの登場人物が書いている英文を読み、自分自身の学級で英語の授業がある曜日を表現できるように書かれている英文を見ながら一文を書き写す。
(エ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌い等、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動	自分が好きな人やことを他者に紹介する活動において、“I like baseball. My favorite baseball player is ~.”を例としながら、自分の考えや気持ちを表現するために、語順を意識しながら、baseball等の語を替えて、“I like music. My favorite musician is ~.”と書く。

○単元における「書くこと」の言語活動の例（第5学年“When is your birthday?”）

上記の(ア)から(エ)の言語活動に対して、単元における「書くこと」に関わる言語活動例を示します。

時	活動例	言語活動例（書くこと）
第1・2時	祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大きい文字や小さい文字を識別する。 ・12か月の読み方を言う。 ・行事の読み方を言う。 ・誕生日カードを読む。 ・誕生日カードのToの後ろに自分の名前を書く。
第3時	好きな物について尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・色やスポーツの読み方を言う。
第4時	誕生日等を聞き取ったり、誕生日に欲しい物を尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・12か月の読み方を適切に発音する。 ・色の読み方を適切に発音する。 ・スポーツの読み方を適切に発音する。 ・誕生日カードのFromの後ろに自分の名前を書く。
第5時	誕生日カードを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大きい文字や小さい文字を識別する。 ・誕生日カードに12か月を表す単語を大きい文字で書く。 ・12か月の読み方を適切に発音する。
第6時	誕生日カードを書きながら、慣れ親しんだ表現を見て、意味が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大きい文字や小さい文字を識別する。 ・書いた12か月を表す単語の読み方を適切に発音する。
第7時	カードに書かれている誕生日を読むようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを贈り合い、カードを読む。 ・書かれている内容について会話する。

研修14 書くことについて①

○事前に準備する物

- ・ 小学校学習指導要領解説 外国語編（文部科学省 平成29年7月）
- ・ 研修14「解説編」（P70、71）
- ・ 演習シート（P96、97）

○研修の留意点

- ・ 当該学年の学習内容だけでなく、中学年での外国語活動や中学校の外国語科の学習内容についても意識すること。

○研修例（45分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	○外国語科「書くこと」の概要について理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ・「書くこと」と聞いてイメージすることを研修対象者にインタビューして、従来の中学校での指導との違いを明確にする。 ○「書くこと」に関連した従来の外国語活動の課題、「書くこと」の目標、「書くこと」の留意点、中学年での指導等について説明する。	・ 本書P70、71
35分	○外国語科「書くこと」の言語活動について理解すること。 ○「書くこと」の言語活動を取り入れた単元の流れを考えること。	○外国語科「書くこと」の言語活動について説明する。 ○一単元の中に「書くこと」の言語活動をどのように取り入れていくかを考えるようにする。 （グループ活動：15分） ・ 児童が活字体を書いたり、簡単な語句や表現を書き写したり、例の中から言葉を選んで書いたりすることを意識する。 ・ 考えた活動の流れを共有する。	・ 小学校学習指導要領解説 外国語編 ・ 演習シート P96、97
5分	○研修を振り返ること。	○研修を通して学んだことや今後の検討事項等を共有する。	

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
10分	○外国語科「書くこと」の概要について理解すること。	○研修のねらいを伝える。 ○外国語科「書くこと」の概要を説明する。 ・設定の経緯 ・目標 ・指導上の留意点 ・中学年での指導等	・本書P70、71 ・小学校学習指導要領解説 外国語編
5分		○「書くこと」の言語活動例を伝える。	

ローマ字の指導との関連

コラム

日本語のローマ字表記については、「ローマ字のつづり方」（昭和29年内閣告示）を踏まえて指導することとなっています。

外国語科においては、国際的な共通語として英語を使用する観点から、できるだけ日本語の原音に近い音を英語を使用する人々に再現してもらうために、いわゆる「ヘボン式ローマ字」で表記することを指導します。

例えば、名前を書かせる際には、第3学年の国語科において日本語のローマ字表記の知識を活用して、“My name is ～.” や “I am from～.” 等の表現や、人名や地名等の固有名詞を含む表現を書き写させるようにするなど、学習のしやすさを促す工夫が考えられます。その際、人名や地名のローマ字表記は英語の中でも用いることを指導するようにします。

